平成26年 5 月改訂

ご使用に際して、この説明書を必ず読んで下さい。
また、必要な時に読めるよう本剤とともに保管して下さい。

當帰芍薬散料

（とうきしゃくやくさんりょう）

第2類医薬品

本剤は、漢方の古典「金匱要略」に収載されている当帰芍薬散に準拠して製造された煎薬用の紙パック剤です。

⚠使用上の注意

相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

(1)医師の治療を受けている人。
(2)胃腸の弱い人。
(3)今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症　　状
皮　　膚	発疹・発赤、かゆみ
消 化 器	食欲不振、胃部不快感

3. 1ヵ月位服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

[効能・効果]

比較的体力が乏しく、冷え症で貧血の傾向があり、疲労しやすく、ときに下腹部痛、頭重、めまい、肩こり、耳鳴り、動悸などを訴える次の諸症：月経不順、月経異常、月経痛、更年期障害、産前産後あるいは流産による障害（貧血、疲労倦怠、めまい、むくみ）めまい、頭重、肩こり、腰痛、足腰の冷え、しもやけ、むくみ、しみ。

[用法・用量]

大人（15才以上）は1包（1日量）につき水400mLを加えあまり強くない火にかけ200mLに煮つめ、紙袋とともに煎じかすを取り去り、食前1時間前又は食間空腹時に温服して下さい。小人（15才未満4才以上）は同様に煎じて食間空腹時に温服して下さい。

年　　齢	1包(1日量)煎じ液	1日服用回数	年　　齢	1包(1日量)煎じ液	1日服用回数
大人(15才以上)	全　量	3～2回に分けて	15才未満7才以上	2/3量	3回に分けて
			7才未満4才以上	1/2量	
			4才未満	服用しないこと	

〈用法・用量に関連する注意〉

(1)小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること。
(2)用法・用量を厳守すること。

[成分・分量]

［本品1包（1日量）24.0ｇ中］

日本薬局方　トウキ…… 3.0ｇ
日本薬局方　センキュウ…… 3.0ｇ
日本薬局方　シャクヤク…… 6.0ｇ
日本薬局方　ブクリョウ…… 4.0ｇ
日本薬局方　ビャクジュツ…… 4.0ｇ
日本薬局方　タクシャ…… 4.0ｇ

保管及び取扱い上の注意

(1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること。
(2)小児の手の届かない所に保管すること。
(3)他の容器に入れ替えないこと。
(4)煎じ薬は腐敗しやすいので、冷暗所又は冷蔵庫等に保管し、服用時に再加熱して服用すること。

[問い合わせ先]
本製品についてのお問合せは、お買い求めのお店、または下記にお願い申上げます。
東洋漢方製薬株式会社「お客様相談室」
電話　0120－00－1040
受付時間　9：00～17：00（土、日、祝日を除く）

副作用被害救済制度の問合せ先
（独）医薬品医療機器総合機構
電　話　0120－149－931

製造販売元
東洋漢方製薬株式会社
〒584-0022　大阪府富田林市中野町東2丁目1番16号